

一般質問

11月24日
11月25日
本会議

◆質問と答弁は要旨を掲載しています。
◆一般質問の全文(会議録)は、2月中旬にホームページに掲載します。
◆スマートフォンなどで2次元バーコードを読み取ると、各議員が一般質問をしている動画にアクセスできます。



しいなひろみ

(無所属の会)



東武練馬駅北口の交通規制について問う

【質 問】3年5月に、午後4時から8時までの交通規制を3年度内に開始すると近隣の掲示板で事前周知があったが、現状の進捗状況は。

【区 長】予定に大きな変更はない。現在、実施の主体となる警視庁への手続きについて、練馬区に補足手続きを依頼し、実行中の状況である。



東武東上線 東武練馬駅北口

新型コロナウイルス3回目接種時の移動支援を求めて

【質 問】高齢者などの移動困難者に対し、介護タクシーの利用料補助などを行うべき。



田中しゅんすけ

(自民党)



新たな日常に向けたウィズコロナへの取組みを問う

【質 問】在宅療養者医療サポート事業では、区医師会に電話とFAXで患者情報を伝えている。医療現場の負担軽減のため、見直しを行うべき。

【区 長】国のシステム「ハリス」を用いた情報共有ができるよう準備を進めていく。

【質 問】区が主体となり、ICTを活用した地域医療体制を構築すべき。

【区 長】都の多職種連携ポータルサイトの普及や効果などを注視し、区内の地域医療情報連携を推進していく。

【質 問】中小企業や個人事業主への支援策と新たな事業展望を伺う。

【区 長】資金繰り支援や補助金などを活用した事業継続

再構築支援による持続可能な経営の促進に取り組む。

町会・自治会について問う

【質 問】新型コロナウイルスにより社会が変化する中で、町会・自治会と連携・共催してきた事業について、新たな取組みへの考えはあるか。

【区 長】町会・自治会の意見を十分に聞きながら、新たな事業のあり方について検討を進めていく。

総合教育会議について問う

【質 問】いじめによる自殺を防ぐための体制強化は喫緊の課題である。区の総合教育会議が果たすべき役割は。

【区 長】いじめによる重大事態に関して講ずべき措置も会議で扱わなければならない課題と認識している。

中村とらあき



(自民党)



新公会計制度について問う

【質 問】行政運営の効率化や職員のコスト意識の啓発のため、新公会計制度を積極的に活用すべき。

【区 長】フルコストなどを図で示した事業別行政評価シートを区民に身近な事業を中心に作成している。今後も改善しながら、職員のコスト管理意識などを高めていく。

再開発事業の意義の発信を

【質 問】安心・安全なまちづくりをめざしていることをより強く発信すべき。

【区 長】区民の理解が深まるよう、今後も再開発組合とともに取り組んでいく。

公契約に関するルールの導入について問う

【質 問】ルールの導入は労働条件や労働環境の向上に資すると考えるが、見解は。

【区 長】導入に向けた検討を進めることが必要と考えており、労働環境の向上を促す契機につなげていく。

地域課題について問う

【質 問】上板橋駅南口の再

学校施設の改築について問う

【質 問】改築時は、温室効果ガスの排出を実質ゼロにするカーボンニュートラルの取組みが求められるが、見解は。

【教育長】年間で消費する一次エネルギーの収支を均衡させるZEB(ゼブ)化などの取組みについて検討していく。

【質 問】学校とコミュニティ施設の複合化や共用化を図るなど、将来を見据えた取組みが肝要である。見解は。

【教育長】使用目的の変更に対応できる持続可能な施設として整備していく。



茂野善之

(自民党)



成人式の開催について問う

【質 問】成人式は一生に一度の行事であるが、現時点における開催予定は。

【区 長】ワクチン接種が順

加賀福祉園について問う

【質 問】加賀福祉園の今後の運営に関する考え方を伺う。

【区 長】建物の築年数が古くなっており、改築・改修の必要性を認識している。園の敷地は国有地を借用しているため、国と協議を行いながらより良い運営に向けて検討を進めていく。

地域課題について問う

【質 問】石神井川(緑橋付近)の土砂のしゅんせつ工事の進捗状況は。

【区 長】落札者がなく、契約に至っていない。施工方法の再検討など実施に向けた対策に取り組んでいく。

環境施策について問う

【質 問】区の公用車を電気自動車にするなど、「環境の板橋」をアピールしては。

【区 長】電気自動車については、2年度から開始した片有車カーシェアリング事業で安定した性能が確認されたことから、導入に向けて検討を進めていく。

補助第26号線について問う

【質 問】災害時に緊急車両の通行をスムーズにするため、無電柱化が必要と考えるが、実施の予定は。

【区 長】都の無電柱化計画

調に進み、感染者数が減少していることから、開催に向けて準備している。

働き方改革の推進を問う

【質 問】病気の治療と就労の継続を支援するため、両立支援コーディネーターなどの制度が活用されるよう周知を。

【区 長】ホームページや相談窓口の紹介を通じ周知を行い、治療と仕事の両立支援や労働衛生の向上を図っていく。

【質 問】都が実施予定の、若手技術者の人材確保のために、奨学金返還支援を行っている中小企業への支援制度を周知すべき。

中学生平和の旅について問う

【質 問】コロナ感染拡大の影響により、2年連続で中学生平和の旅が中止となった。今後、感染が収束した場合はどのように対応していくのか。

【区 長】若い世代が平和の尊さを学ぶ貴重な事業であり、継続して実施していかなければならないと考えている。



(仮称)子ども家庭総合支援センターについて問う

【質 問】4年度の開設にあたり、児童福祉司や児童心理司などの資格を有する職員は十分に確保できているか。

【区 長】児童福祉法などが定める配置基準を上回る職員数を予定しており、人員確保は計画どおり進んでいる。

教育問題について問う

【質 問】児童に配付しているタブレットを使いたいじめが問題になっている。対策は。

【教育長】メールやSNSなどの利用について、一定の機能制限をかけている。また、人を傷つけることや嫌がることをしないよう、情報モラル教育を推進していく。

自転車の通行施策を問う

【質 問】コロナ禍により自転車利用が急増している。区道における自転車走行空間の整備を進めるべき。

寺田ひろし

(公明党)



【区 長】事業内容が明らかになった際には、必要な周知に取り組んでいく。

ひとり親自立支援事業を問う

【質 問】ひとり親自立促進パッケージの一つである償還免除付きの住宅支援資金貸付事業の周知を。

【区 長】ひとり親施策に関する情報提供は、ホームページやひとり親家庭サポートブックなどで行っている。都が3年12月から開始する住宅支援資金貸付事業についても、各種の広報媒体で周知する。

保育施策について問う

【質 問】病児・病後児保育の利用登録の方法として、窓口や郵送に加え、オンラインでも申請できるようにすべき。

【区 長】利便性向上を図るため、4年度利用分から東京共同電子申請・届出サービスなどを活用したオンライン化を実現する。

【質 問】感染予防対策と夫婦による子育て参加を両立するため、区立保育園の紹介動画を公開しては。

自転車通行施策を問う

【質 問】コロナ禍により自転車利用が急増している。区道における自転車走行空間の整備を進めるべき。

(7面に続く)